

平成 29 年度 体協ニュース

No.	29-⑳
行事名	加盟団体代表委員会
会 場	板橋区立小豆沢体育館 多目的室
日 時	平成 30 年 2 月 19 日(月) 午後 6 時 30 分～
主 催	公益財団法人 板橋区体育協会

平成 30 年 2 月 19 日(月) 午後 6 時 30 分から小豆沢体育館多目的室において平成 29 年度加盟団体代表委員会が福澤総務部長の司会により開催されました。

下田賢司体育協会会長の挨拶に始まり、下田会長が議長に選出され、定足数の確認(代表委員 33 名出席)の後、審議事項へと進行しました。

内容は、以下の通りです。

1. 平成 30 年度事業計画(案)について：高澤 誠専務理事

① 第 43 回板橋区・高島平ロードレース大会のスタート順の変更予定

警察から最初に 20 km の部をスタート、次に 5 km、10 km とすればより一層安全確保ができ、トラブルも少なく運営できるのではないかと強い要請を受け、組織委員会(体協・陸連・板橋区)で検討している。

② 新しい試みで年 2 回実施している区民ハイキングに対し勉強会を予定している。

③ 新規事業としてトップアスリート育成水泳教室に取りくんでいく。

会場は 12 月完成予定の小豆沢体育館プール、来年 1 月から予定している。

目的は競技水泳愛好者の普及、トップアスリートの育成とし初心者水泳教室ではない。

一貫指導により、将来板橋区から国際競技者・オリンピックスイマーを輩出したい。

その他、教室の事業内容・運営・定員・会費・概算事業についての説明。

以上の主な変更報告があり、第 1 号事業～第 10 号事業関係については例年通りということが報告がされました。

2. 平成 30 年度予算(案)について：吉田輝男常務理事

資料に基づき平成 29 年度との対比で、分かり易く丁寧な説明がありました。収支はトップアスリート育成水泳事業・金沢市交流親善少年野球などで大幅の増加を見込んでいる。

次いで質疑応答が行われ、新規事業のトップアスリート育成水泳教室関係についての質問がありました。高澤専務・加藤副会長の説明により出席者の了解を得ました。

3. その他 第 42 回板橋区・高島平ロードレース大会の実施報告

決算状況・参加状況・大会記録・実行委員の構成・反省点・今後の課題などについて報告されました。

最後に、加藤勝一副会長より「事業計画案・収支予算案審議頂き有難うございます。事業などは代表委員の方々の協力・骨折りをいただくので、大変感謝申し上げます。3 月の板橋 City マラソンの事業で、本年度が終わります。来年度も明るい楽しい事業が展開できたらと思っております。そのためにも今後もいろいろご意見いただけたらと思います」と、閉会の挨拶で終了しました。

(小堀 幸子記)



加盟団体代表委員会

(公財)板橋区体育協会
常務理事、理事
司会：福澤総務部長

下田体育協会会長
挨拶



高澤専務理事による説明



代表委員会会場



加盟団体 代表委員の皆様